

# 疾病負荷に関する定量的評価指標 (DALYs等) の食品健康影響評価への活用 (*Kudoa Septempunctata* の例)

## 食品由来の疾病負荷に関する定量的指標 (DALYs) について

### 障害調整生存年 DALYs: Disability-Adjusted Life Years

疾病や危険因子に起因する死亡と障害に対する負荷を比較できる形で、集団の健康影響を総合的に定量化するための指標。DALYsは、現在の健康状態と理想的な健康状態(健康なまま疾病もなく寿命を全うする)とのギャップで示され、1 DALYは健康状態での1年間の損失と考えることができる。

食品安全委員会では、2015年に実施したヒラメの*Kudoa septempunctata*の食品健康影響評価において、健康被害を定量化するための指標としてDALYsの試算結果を初めて活用した。実際には、以下のように日本におけるカンピロバクター属菌及びノロウイルスによる食品由来疾患のDALYsを試算した結果と比較した。

〈各食中毒原因のDALYs〉

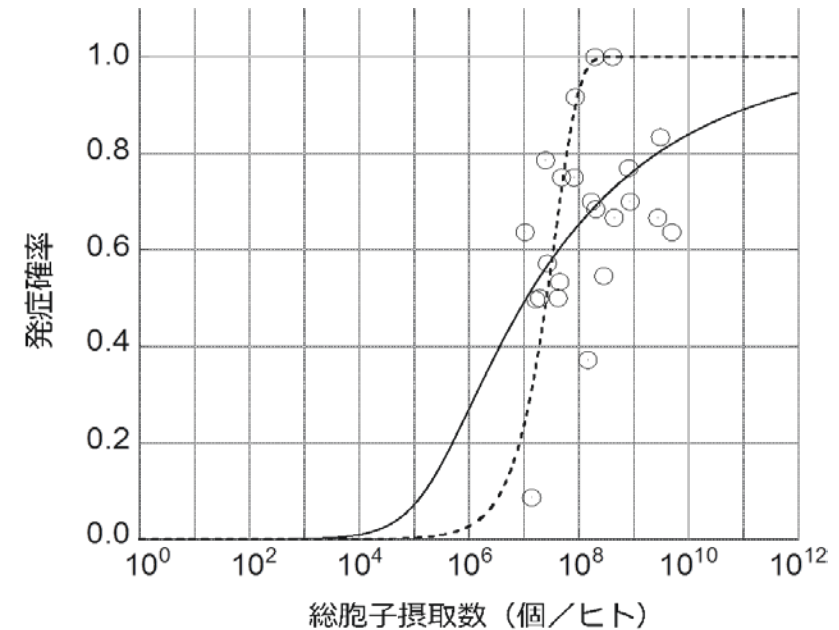
食中毒原因	YLDs <sup>b</sup>	YLLs <sup>c</sup>	DALYs
<i>K. Septempunctata</i>	1.54	0	1.54
カンピロバクター属菌 <sup>a</sup>	6,003	96	6,099
ノロウイルス <sup>a</sup>	58	457	515

a: 2011年データ、b: 障害生存年数、c: 生命損失年数

## (参考) *K. Septempunctata*による食中毒の発症確率の試算

DALYsの算出のために*K. Septempunctata*による食中毒の発症確率について試算する必要があり、用量反応モデルについて検討を行った。

用量反応曲線の作成に当たって、食中毒事例等における*K. Septempunctata*の総孢子摂取数(推定)を用い、食中毒細菌の用量反応モデルとして使用される頻度の高いベータポアソンモデル(実線)及び指数モデル(点線)を適用した(下図)。



\* 評価技術企画WGでは、DALYs等の定量的評価指標について食品健康影響評価への適用可能性を検討する。